

「日本腎生検レジストリー (J-RBR) 登録症例の予後調査研究」へのご協力のお願い

ー平成19年1月1日から平成25年12月31日までの間に岡山大学病院において腎生検を受けられた患者さまへー

研究機関名	岡山大学				
責任研究者	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	腎・免疫・内分泌代謝内科学分野	教授	横野博史	
分担研究者	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	慢性腎臓病対策腎不全治療学講座	教授	杉山 斉	
	同	同	助教	森永裕士	
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	腎・免疫・内分泌代謝内科学分野	助教	内田治仁	
	同	CKD・CVD 地域連携・心腎血管病態解析学	教授	前島洋平	
	岡山大学病院	腎臓・糖尿病・内分泌内科	助教	喜多村真治	
	同	同	助教	北川正史	
	同	血液浄化療法部	助教	田邊克幸	
	同	同	医員	山成俊夫	
	同	腎臓・糖尿病・内分泌内科	医員	大西章史	
	同	新医療研究開発センター	医員	菊本陽子	

1. 研究の意義と目的

腎臓病が進行して慢性透析療法を受ける方の数は年々増加しており、腎生検の検査は腎臓病の正確な診断や進行度の判定、治療方針の決定に重要です。腎臓病の進み方や病気のたどる経過を調べて、より良い治療法の開発や、病気の予防や管理の仕方の向上につなげていくことを目的としています。

2. 研究の方法

- 1) 研究対象：平成19年1月1日から平成25年12月31日までの間に岡山大学病院で腎生検を受けられた腎疾患の患者さま700人
- 2) 調査期間：平成25年9月25日から平成30年12月31日まで
- 3) 研究方法：平成19年1月1日から平成25年12月31日の間に岡山大学病院で腎生検を受けられた腎疾患の患者さまで、約5年後の血液検査（腎機能）、透析や腎移植による治療を始められたかどうかなどについて、カルテ情報の調査を行います。診療情報をもとに腎疾患のたどる経過を調べます。本研究は岡山大学を主管とする多施設共同研究として行われます。
- 4) 調査票等：研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。
 - ・血清クレアチニンなど腎機能の数値
 - ・慢性透析療法や腎移植を受けられたかどうか、現在も生存されているかどうか
- 5) 情報の保護：調査情報は岡山大学腎臓内科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表される可能性があります。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成30年12月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にも不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 腎臓内科
 氏名：杉山 斉, 森永 裕士, 北川 正史, 山成 俊夫
 電話：086-235-7235 FAX：086-222-5214